

京都市立芸術大学 日本伝統音楽研究センター

でんおん連続講座(D・E)

「でんおん連続講座」では、多くの方に日本の伝統音楽や芸能について理解を深めていただけるよう、音源・映像を用いて説明を行いつつ、歴史的資料、口伝書、楽譜などの演奏資料を読み進めます。専門的なテーマに気軽に触れていただける市民講座となっております。皆様のご参加をお待ちしております。



D

第1回
11月27日(木)

第2回
12月11日(木)

受講料
2,000円
(全2回)

内
容

日
時

能を題材とした長唄曲1

講師：武内恵美子（日本伝統音楽研究センター准教授）

歌舞伎舞踊として発展した長唄には、能を題材にした曲が多く存在します。しかも、長唄の代表曲とされるような曲であることも多いです。長唄の曲はよく知っていたり、能由来だということは知っている方々も、両方を比較して味わってみる機会は多くないのではないでしょうか。能を長唄に仕立て直したときに、何がどのように変わるのであれば、内容・構成・歌詞・音楽・舞台の表現等からじっくり比較・再考してみましょう。

第1回：11月27日(木) 10時30分～15時(1時間程度の昼休憩を含む)
場 所：京都市立芸術大学新研究棟7階合同研究室1
能《道成寺》と長唄《京鹿子娘道成寺》

第2回：12月11日(木) 10時30分～15時(1時間程度の昼休憩を含む)
場 所：京都市立芸術大学新研究棟7階合同研究室1
能《安宅》と長唄《勧進帳》

事務局 連携推進課(事業推進担当)

連続講座申込方法

はがき、FAX、電子メールのいずれかの方法により、①郵便番号、②住所、③氏名、④電話番号(FAX番号)、⑤希望する講座をご記入の上、お申込みください。

申込先・問い合わせ先

**京都市立芸術大学 事務局
連携推進課(事業推進担当)**

〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町 13-6
電話 / 075-334-2204
FAX / 075-334-2241
E-mail / public@kcua.ac.jp

各講座ともに定員50名
平成26年10月1日(水)から
上記方法にて受付。

*定員に達した場合は締め切ります

会 場

京都市立芸術大学
京都市西京区大枝沓掛町13-6



阪急桂駅東口

[セブンイレブン前の2番のりば]
京阪京都交通バス
12・13・14・25・28系統に乗車約15分
「芸大前」下車すぐ ※平日の日中は毎時平均3本運行

阪急桂駅西口

市バス 西1・西5・西8系統に乗車約20分
「新林池公園」下車徒歩10分

JR京都駅烏丸口

[C2のりば] 京阪京都交通バス
2・28系統に乗車約45分「芸大前」下車すぐ
[C5のりば] 市バス
73系統に乗車約45分「国道沓掛口」下車徒歩10分

JR桂川駅

京阪京都交通バス
11A系統に乗車約15分または12A系統に乗車約20分
「芸大前」下車すぐ
ヤサカバス
1号系統（桂坂中央行き）乗車約15分「新林池公園」
または「国道沓掛口」下車徒歩10分

E

第1回 2015年
2月27日(金)

第2回 2015年
2月28日(土)

受講料
第1回… 1,000円*
第2回… 無 料*

内
容

日
時

平安末期・鎌倉期の舞楽—音楽と舞の様式をさぐる—

講師：田鍬 智志（日本伝統音楽研究センター准教授）

出演：齋藤 尚（日本伝統音楽研究センター図書室司書）他

雅楽は、平安前期に様式が確立したといわれていますが、こんにち、我々が見て聴いて知っている雅楽は、平安前期はおろか中世まで遡ることも困難です。中世以前のあらゆる資料から垣間見える音楽や舞は明らかに現行とは様子が違います。平安末期および鎌倉期には、舞譜『掌中要録』・楽書『教訓抄』『続教訓抄』・笛譜『管眼集』・箏譜『仁智要録』・琵琶譜『三五要録』など、実際に多くの雅楽にかんする書や譜が撰述され、そしてそれらの多くが今日に伝存しています。そこから垣間見えるその時代の舞楽は、どのような音楽と舞だったのでしょうか？唐楽を伴奏とする左方舞のうち平舞演目の再現に挑みます。

第1回：2月27日(金) 13時～16時10分(10分程度の休憩を含む)
場 所：京都市立芸術大学新研究棟7階合同研究室1
レクチャーチーム：平安末期・鎌倉期雅楽の音楽と舞

第2回：2月28日(土) 13時～(2時間程度)
場 所：京都市立芸術大学 大学会館ホール
デモンストレーション：平安末期・鎌倉期の舞楽を再現する

* 第1回は有料、第2回は無料となっております。会場も異なりますのでご注意願います。

第2回はカワイサウンド技術・音楽振興財団助成による催します。